

■山内一豊 武将，大名。自らの積極性と，糟糠の妻の功で，次々チャンスを掴み，土佐の初代藩主となった。
やまのうちかずとよ
・・・・・・1545＝ 尾張国葉栗郡黒田で，尾張国岩倉城主織田信安に仕え黒田城を預かる家老山内盛豊の次男に生まれる。

ザビエル来日1549＝ 4歳：

織田信長登場1551＝ 6歳：この年清州織田家跡目を相続した信長に，父が対立するようになり，

・・・・・・1554＝ 9歳：

・・・・・・1557＝12歳： 織田信長の手勢らしき盗賊に黒田城が襲撃された際，兄が討死。

大友府内開港1559＝14歳： 信長により，主家の岩倉城が落城。父は自刃したらしく，以後，一家離散。

桶狭間の戦い・1560＝15歳：
尾張から美濃，近江へと流転し，

大村純忠受洗1563＝18歳：
勢多城主山岡氏に仕え200石を領するなどするうち，

織田信長入京1568＝23歳：この頃には， 織田信長に仕え，豊臣秀吉の与力になったと考えられる。

石山合戦始・1570＝25歳： 姉川の戦いに初陣し，近江の浅井家家臣の娘で，幼くして父を亡くした生い立ちが共通する千代に出会い，

三方原の戦い・1572＝27歳：
室町幕府滅亡1573＝28歳： *千代と結婚。越前朝倉氏と戦い，重傷を負いながらも敵将を討ち取って，近江唐国に400石を領する。この際，妻の金で馬を買った話は有名。

安土楽市楽座1577＝32歳： 秀吉の中国地方経略にも加わって，諸戦に従軍。

石山合戦終・1580＝35歳：長女が誕生。 秀吉が姫路城主になったのに伴って，播磨に移り2000石を領し，
パリヤーノ謁見 1581＝36歳：
本能寺の変・1582＝37歳： 播磨印南郡に500石加増される。
賤ヶ岳の戦い・1583＝38歳： さらに賤ヶ谷の戦いでは柴田勝家軍の追撃の一番乗り，
長久手の戦い・1584＝39歳： 小牧・長久手の戦い，紀州征伐などに従軍し，近江国長浜で2万石を領し，豊臣秀次の老臣となる。
豊臣秀吉関白1585＝40歳： 近江国主となった豊臣秀次の宿老の一人になる。在京中，江北大地震があり，長女や家臣の多くを失う。
妻が衝撃から立ち直れずにいるのを見かね，
パレノ追放令 1587＝42歳： 家臣の誕生まもない男子(自身の庶子かも)が捨子として拾わせ，以後，妻は我が子のように養育，

秀吉全国統一1590＝45歳： *小田原の陣にも参戦し，遠江国掛川で5万石の領主となる。
士農工商公布1591＝46歳： この年， 秀吉の子鶴松が夭折，秀次を養嗣子にし，関白を譲るが，
方広寺大仏殿1593＝48歳： 淀殿に男子が誕生して，情勢一変，
この間， 秀次と距離を置くようにしていて，
関白秀次事件1595＝50歳： 謀叛の疑いをかけられた秀次は切腹，妻妾子すべても処刑されるなか，連座を免れたところか，秀次の所領の一部を加増され，遠江の蔵入地3000石も預けられている。

この間，弟の子忠義を養嗣子に迎え，
前田利家没・1599＝54歳：
関ヶ原の戦い・1600＝55歳： *関ヶ原の戦いでは東軍に属し，妻の機知もあって功をあげ，土佐20万2600石余の藩主に封ぜられた。長宗我部連臣の反乱(浦戸一揆)を鎮定し，
朱印船制始・1601＝56歳： 浦戸に入城。
阿国歌舞伎始1603＝57歳： 夭折した長女を供養すべく妙心寺に400石を寄進して塔頭大通院を修築。 高知城を完成させ，
徳川家康隠居1605＝60歳： 城下町の建設を行い近世土佐藩の基礎をすえて，
忠義が家康の養女と結婚まもなく 没した。